People

三輪車パスして、いきなり自転車® シリーズ

専用 取扱説明書

取説 201306

この度は「いきなり自転車シリーズ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この「いきなり自転車シリーズ」には、別紙「自転車共通取扱説明書」に加え、特殊な機能、注意事項がございます。あらかじめ、「自転車共通取扱説明書」および「いきなり自転車シリーズ専用取扱説明書」（本冊子）の両方を必ずお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

■ 1）セット内容 -- P1
■ 2）各部のなまえ ------------------------------------ P1
■ 3）組み立て方法 ------------------------------------ P2
■ 4）いきなり自転車シリーズ特有の機能について --------- P2~5
■ 5）長くご愛用いただくためのコツ --------------- P6~7
■ 6）故障かな？と思ったら…トラブルシューティング ----- P8~10
■ 7）かじとりワイヤの取り外し手順 -------------- P11
■ 8）定期点検用チェックリスト -------------------- P12

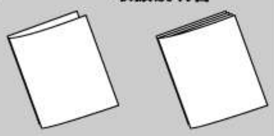
1）セット内容 … 必ずご確認ください。

①自転車本体

②押し手棒

③いきなり自転車
専用取扱説明書
（本冊子）

④品質保証書付
自転車共通
取扱説明書

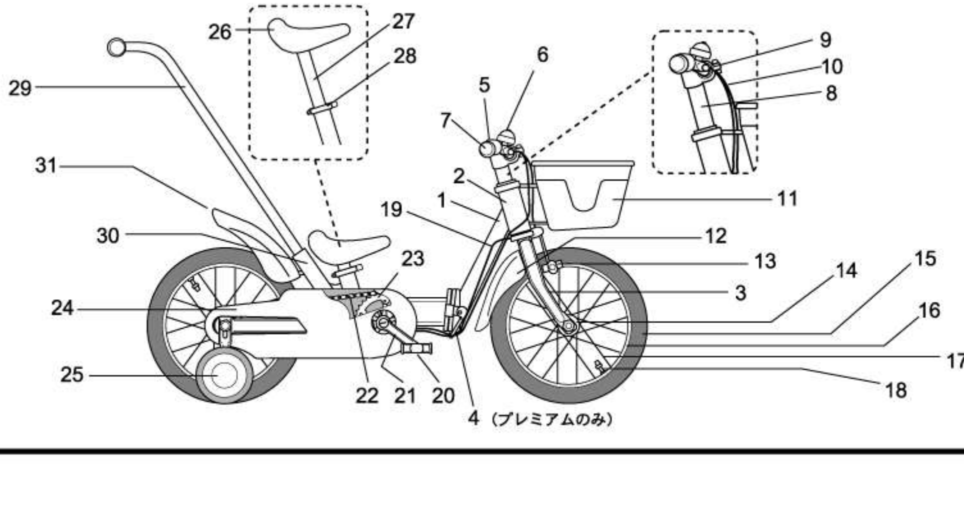


※お買い上げ店様によって組み立てられている場合があります。
※組み立てに必要な工具は付属していません。ホームセンター等でお求めください。

※商品は品質向上のための変更により、写真・イラストと多少異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

2）各部のなまえ

No.	名称	No.	名称	No.	名称
1	フレーム	12	泥よけ（前）	23	チェーンリング
2	ヘッドチューブ	13	前ブレーキ	24	チェーンケース
3	フロントフォーク	14	ハブ	25	補助輪
4	折りたたみ部（プレミアムのみ）	15	タイヤ	26	サドル
5	ハンドル	16	リム	27	シートポスト
6	ベル	17	スポーク	28	シートピン
7	にぎり	18	タイヤバルブ	29	押し手棒
8	ハンドルポスト	19	かじとりワイヤ	30	押し手棒差込パイプ
9	ブレーキレバー	20	ペダル	31	泥よけ（後）
10	ブレーキワイヤ	21	クランク		
11	前カゴ	22	チェーン		



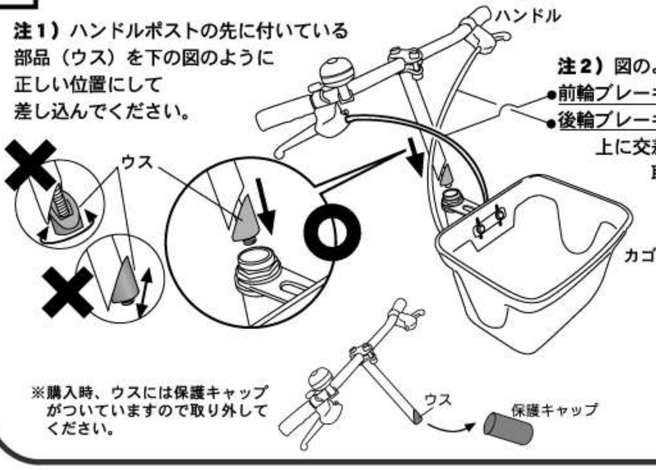
3）組み立て方法（お買い上げのお店によって組み立てられている場合があります）

1 箱からとり出し、梱包材をはずします。

※「プレミアム」の折りたたまれた車体の開き方は、
P3の「折りたたみの開閉方法」を参照してください。

2 ハンドルを差し込みます。（固定は、サドルとハンドルの調整時に行います）

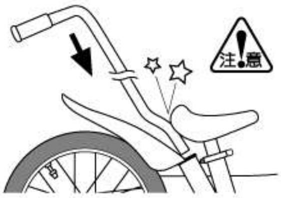
注1） ハンドルポストの先に付いている部品（ウス）を下の図のように正しい位置にして差し込んでください。



注2） 図のように、
●前輪ブレーキワイヤが
●後輪ブレーキワイヤの
上に交差するように取り付けます。

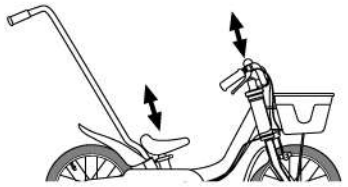
※購入時、ウスには保護キャップがついていますので取り外してください。

3 一旦サドルを外し、かじとり押し手棒を取り付ける。（下記参照）



※サドルを外さずに無理矢理押し込んだり、引き抜いたりすると、押し手棒に傷がついたり、サドルが破れたりする原因になります。

4 サドルを差し込み、自転車共通取扱説明書 P5～6の説明に従い、体型に合わせてサドルとハンドルの高さを調整し、固定してください。



5 使用状態完成

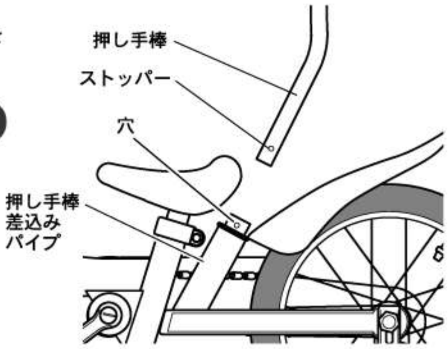
警告

乗車前には必ず
保護者の方が
正しく固定されているかを
確認して下さい。

4）いきなり自転車シリーズ 特有の機能について

■押し手棒の取り扱い方■

●サドルを外して、ストッパーを押し込みながら着脱します。



押し手棒を取り付ける時

①サドルを引き抜いてください。
②押し手棒のストッパーを押し込みながら押し手棒差込みパイプに差込みます。
十分に差込まれるとカチッと音がして、ストッパーが差込みパイプの穴から出て固定されます。必ずストッパーが穴から出ていることを確認してください。

警告
ストッパーの差込みが不十分だと危険です。しっかりと差込んでストッパーが穴から出ていることを確認してください。

押し手棒を外す時

①サドルを引き抜いてください。
②押し手棒のストッパーを押し込みながら引き抜いてください。

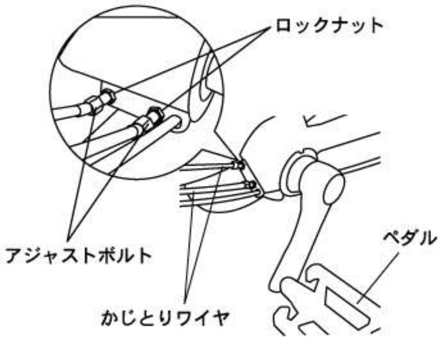
注意
サドルを外さずに押し手棒を無理矢理押し込んだり、引き抜いたりすると、押し手棒に傷がついたり、サドルが破れたりする原因になります。

かじのとり方

※構造上、かじとり押し手棒の可動範囲は、左右で若干異なる場合があります。
左右それぞれ30°以上可動すれば正常です。

■かじとりの調整方法■

●長い間使っているとワイヤが伸びて、かじとり押し手棒とハンドルの動きの誤差（あそび）が大きくなり、扱いにくくなってきます。快適にお使いいただくため、調整してください。
①ロックナットをゆるめます（左まわし）。②左右かじとりワイヤ共に、アジャストボルトを左にまわすと、かじをとったときのあそびが少なくなります。左右バランスよく、かじとり操作を確かめながら、購入時程度のあそびになるよう調整してください。③調整後はロックナットを締めて（右まわし）ください。



> **警告**
> アジャストボルトをゆるめすぎないでください。
> かじとりのあそびが少なすぎると、かじとりワイヤが常に張った状態になり、切れやすくなります。

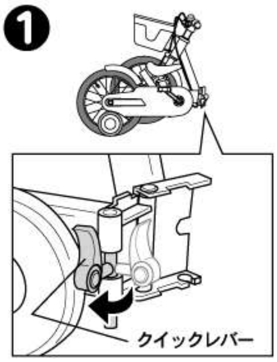
※かじとりワイヤは消耗品です。

誤った操作により過度な負荷がかかると極端に寿命が短くなる恐れがあります。
（詳しくはP6の❶～❻の注意をよくお読みください。）

■折りたたみの開閉方法■　（「いきなり自転車プレミアム」のみ）

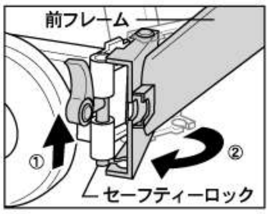
●以下の手順で折りたたまれた車体を開いてください。

❶



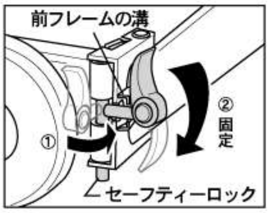
折りたたみ部のクイックレバーを外側に回します。

❷



クイックレバーを上へ引き上げた状態で前後のフレームをまっすぐにつなげます。
クイックレバーを下げ、セーフティーロックをかけます。

❸



図のようにクイックレバーを回転させて前フレームの溝にひっかけます。
クイックレバーを下向きに締めて確実に固定して下さい。

●折りたたむ際は、左記の逆の手順で行なってください。

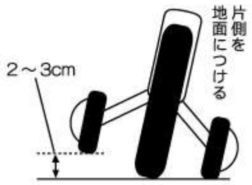
※折りたたむ前には必ず、一旦サドルを外してから押し手棒を取り外してください。押し手棒の外し方はP2「押し手棒の取り扱い方」をご覧ください。

MEMO

■補助輪の調整・着脱方法■

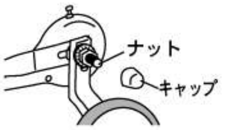
●補助輪を着脱する時には、右記のどちらかの
工具が必要です。ご用意ください。

補助輪の調整方法



補助輪は、片側の補助輪を地面につけた時に、もう一方が地面から２～３センチ浮いているのが正常な取り付け位置です。地面についている場合や、左右の高さが異なっている場合は調整してください。

【調整方法】

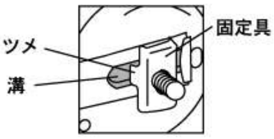


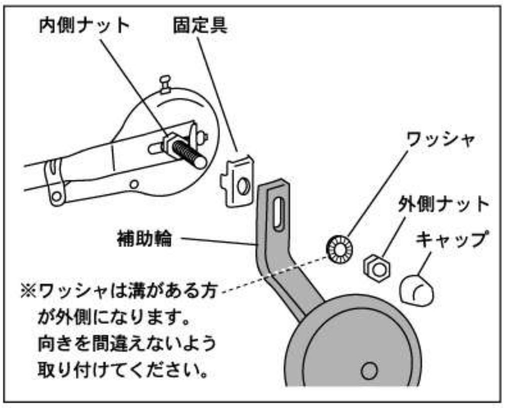
キャップをはずし、ナットをゆるめてください。補助輪が上下にスライドして高さを調整できるようになります。調整後はナットを締めて補助輪にガタ付きがない事を確認しキャップを締めてください。

補助輪の外し方

キャップ・外側ナット・ワッシャをはずし補助輪を取り除きます。内側のナットがきちんと締まっているか確認して、改めて固定具・ワッシャ・外側ナット・キャップを右図の順番で取り付けてください。

※固定具は本体フレームの溝にツメがはまるように取り付けてください。



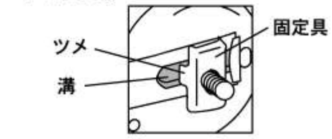


※ワッシャは溝がある方が外側になります。
向きを間違えないよう取り付けてください。

補助輪の取り付け方

ワッシャと固定具の間に補助輪を加え、左図の順番で取り付けてください。
補助輪は上記「調整方法」を参考に調整してください。

※固定具は本体フレームの溝にツメがはまるように取り付けてください。



スタンドの取り付け

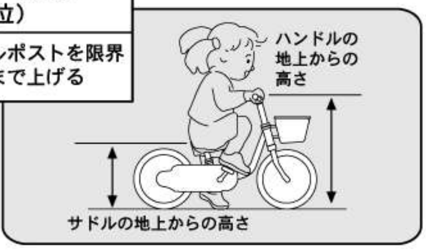
●補助輪を外した後、スタンドが必要な時は、自転車店等でご購入・取り付けを行ってください（有料）。

■身長に合わせたサドル・ハンドルの高さの目安■

表を参考にサドル、ハンドルの高さを調整してください。ただし、体格には個人差がありますので正しい乗車姿勢（「自転車共通取扱説明書」のＰ４参照）になっているか、保護者の方が確認した上でご乗車ください。

	身長 約83㎝（2歳）	身長 約99㎝（4歳）	身長 約115㎝（6歳）
サドルの地上からの高さ	約32～35㎝	約40㎝	約49～52㎝（最高位）
シートポストの調整の目安	シートポストを一番低く	シートポストを少し上げる	シートポストを限界標識線まで上げる
ハンドルの地上からの高さ	約57～58㎝	約60㎝	約68～70㎝（最高位）
ハンドルポストの調整の目安	ハンドルポストを一番低く	ハンドルポストを少し上げる	ハンドルポストを限界標識線まで上げる

※車種（インチ）によって最小・最大サイズに違いがあります。



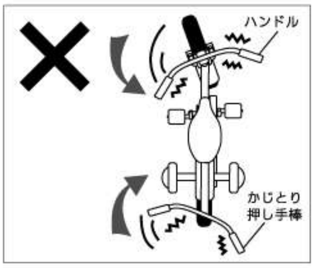
MEMO

5）長くご愛用いただくためのコツ

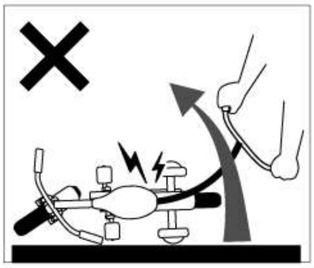
「かじとり機構」は、まだ１人でハンドル操作ができない、２歳のお子様のために考案されています。

「いきなり自転車」は 2 歳でぴったり足がつくように設計されています。かじとり機構は、まだ１人でハンドル操作ができない 2 歳のお子様から、１人で運転できるようになる 3 歳頃までご使用いただくためにつくられています。そのため、長く安全にご使用いただくために、保護者の方は以下の点に注意してお使いください。

1 ワイヤに過度の負荷がかかり、切れてしまう恐れがあるため、以下のような使い方はしないでください。



●お子様がハンドルを強く切っている時に、かじとり押し手棒で無理やり逆方向にかじをきらないでください。

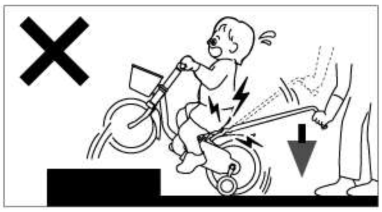


●倒れた車体を起こすために、かじとり押し手棒で起こさないでください。

●補助輪を外す練習をする時に、かじとり押し手棒を使わないでください。

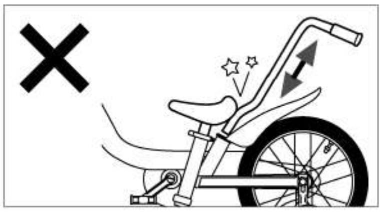
●かじとり押し手棒に荷物をかけないでください。

2 かじとり押し手棒が荷重で曲がってしまいます。お子様を乗せたまま、車体を持ち上げるために、かじとり押し手棒をてこに使わないでください。



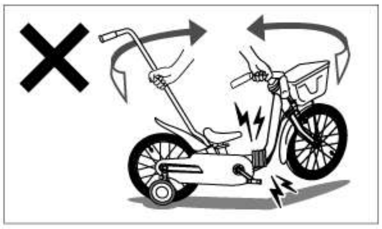
3 かじとり押し手棒を取り外す時は、先にサドルを外してください。

かじとり押し手棒が傷ついたり、サドルが破れる恐れがあります。



4 折りたたむ際に、かじとり押し手棒をつかんで折りたたまないでください。（「プレミアム」のみ）

かじとりワイヤがずれて、かじがとれなくなる恐れがあります。



5 定期点検を必ず受けて安全な状態を保つようにしてください。

6 お子様が自分で運転できるようになったら、必ず「かじとりワイヤ」を取り外してください。

ハンドル操作から過度な負荷がかじとりワイヤにかかって消耗し、切れた「かじとりワイヤ」で怪我をする恐れがあります。

※かじとりワイヤの取り外しはお近くの自転車店（有料）で行なうか、ご自分で取り外される場合は P11「7）かじとりワイヤの取り外し手順」をご参照ください。
※かじとり押し手棒を取り外しただけでは、かじとりワイヤは外れません。
※ワイヤは消耗品です。誤った操作により過度な負荷がかかると、極端に寿命が短くなる恐れがあります。

⑦ 保管場所 ------- 長く、きれいに乗っていただくために。

●屋内で保管していただくのがベストですが、やむを得ず屋外に保管される場合は、市販の「サイクルカバー」をご使用ください。1 週間に一度はカバーを外して中の湿気を取ってください。

⚠注意 錆び易い場所（雨のかかるところ・海岸付近・浄化槽付近・湿気の多いところ・工事現場や金属加工場の近く）での保管はお止めください。

⚠注意 こんなことも錆びの原因になってしまいます。
- サイクルカバーをかけっぱなしにする。
- 焚き火の煙がかかる。
- ジュースなどの飲料水がかかったまま放置する。

⚠注意 直射日光の当たる場所での保管は、変色の原因になってしまいますのでお止めください。

⑧ 簡単にできるメンテナンス ------1ヶ月に一度程度行うことで、更に快適に、長くお使いいただけます。

●塗装部（フレーム、チェーンケース）のお手入れ -----
乾いた布でよくふき、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でよくふき取ってください。

⚠注意 傷がつくと錆び易くなります。乾いた布で汚れをふき取り､「さび止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

●メッキ部（ハンドル・サドルポスト・スポーク等）のお手入れ -----
乾いた布で汚れをふき取り､「錆び止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

⚠注意 傷がつくと錆び易くなります。乾いた布で汚れをふき取り､「さび止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

●錆び易い場所（上記⑦保管場所参照）に置く場合は、お手入れの回数を 2 週間に一度程度に増やしてください。

●雨など水に濡れたときは、乾いた布で水気をとり、よく乾燥させた後、自転車共通取扱説明書「6）お手入れと保管」をご参照の上、注油してください。

⑨ 重大な故障になる前の点検チェック

●ブレーキはきちんと作動しますか？

ご使用を続けていると、ブレーキを操作するワイヤは少しずつ伸びて、ブレーキの効きが悪くなっていきます。自転車共通取扱説明書「 4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、常にブレーキが効くように調整してください。

●かじとり押し手棒の誤差（あそび）は大きくなっていませんか？

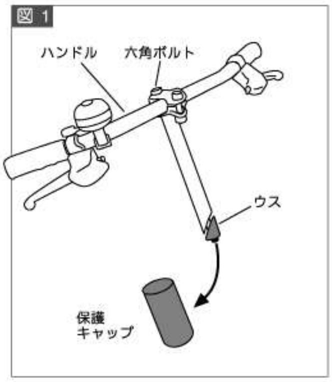
ご使用を続けていると、かじとり押し手棒とハンドルをつなぐ“かじとりワイヤ”は少しずつ伸びて、かじとり押し手棒の操作に対するハンドルの動きの誤差（あそび）が大きくなり、扱いにくくなっていきます。自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱いと調整方法」をご参照の上、調整してください。

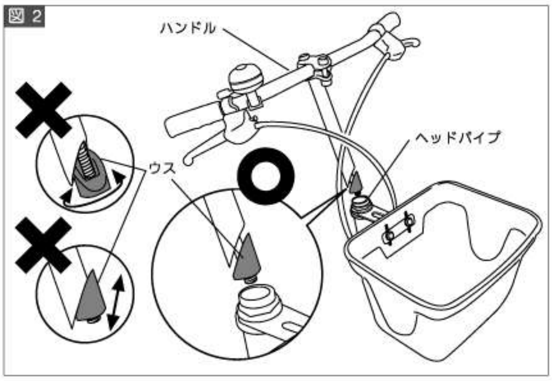
6）故障かな？と思ったら…トラブルシューティング

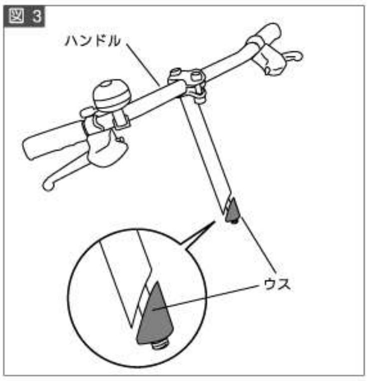
※お店にお問い合わせになる前に点検してください。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店様にご相談ください。

●組み立てについて

症状	チェック項目	判定	対処方法
① **ハンドルをヘッドパイプに差し込めない**	ハンドルポスト先端の保護キャップは外しましたか？ 図 1		
	├ 保護キャップがついたままになっていた。 →		保護キャップを外してからヘッドパイプに差し込んでください
	└ 保護キャップは外した ↓ さらにチェック！ ウスは正しい位置にありますか？ 図 2 →		ウスが正しい位置にないと組み立てられません。本冊子の「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立てを行ってください。
② **ハンドルを固定するネジを締めこんでも、ハンドルが固定できない**	ハンドルポストの先端にウスは付いていますか？ 図 3 →	六角ボルトを緩めすぎて、ウスが車体内部に落ち込んでいる可能性があります。	車体をさかさまにしてウスを取り出し、ハンドルポストに取り付けて、本冊子の「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立てを行ってください。







●かじとり押し手棒について

症状	チェック項目	判定	対処方法
① **かじとり操作が堅い**	お買い上げ後のご使用期間は？		
	├ お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）の場合 →	問題ありません。	工場出荷時は、操作が堅めになるよう組み立てられています。ご使用いただいているうちに、ワイヤが伸びて、適度な堅さになります。
	└ お買い上げ後、一週間以上ご使用されている場合 →	かじとりワイヤが締まりすぎている可能性があります。	ご使用からしばらくたっても操作が堅い場合、自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、調整してください。
② **かじとり操作に対し、ハンドルの反応に誤差（あそび）がある**	どのくらいの誤差（あそび）がありますか？ 次ページ 図4		
	├ こぶし一つ分程度の誤差（あそび）の場合 →	問題ありません。	押し手棒の差し込み易さのため、操作にあそびができるよう設計されています。
	└ こぶし一つ分以上の大きな誤差（あそび）の場合 ↓ さらにチェック！ お買い上げ後のご使用期間は？		
	├ お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）の場合 →		お買い上げ店様にご相談ください。
	└ お買い上げ後、一週間以上ご使用されている場合 →	かじとりワイヤがご使用の間に伸び、調整が狂っている可能性があります。	自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、調整してください。

症状	チェック項目	判定	対処方法
③ **かじとり押し手棒でかじがとれなくなった**	かじとり押し手棒のストッパーが穴から出ているかご確認ください。図5		
	ストッパーが穴から出ていない →	ストッパーが出ていないとかじとり操作はできません。	自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、かじとり押し手棒を取り付け直してください。
	ストッパーが穴から出ている ↓ さらにチェック！		
	かじとりワイヤが切れていないか、ご確認ください。図6 図６の ４ ケ所のワイヤ（銀色部分）が切れていないか、ほつれていないか目視してください。 ※切れたワイヤで手を傷つけないようご注意ください。		
	かじとりワイヤが切れている。または、ほつれている。 →	お買い上げ店様にご相談の上、修理してください。その際、弊社ホームページ内の「かじとりワイヤ交換方法」(http://www.people-kk.co.jp/showroom/jit/wire.html）に記載されたかじとりワイヤの交換手順をプリントアウトしてお持ちいただくとスムーズに作業していただけます。 ※プリントができない場合は、ピープルお客様相談係 ☎ 03-3862-3739 までご連絡ください。	
	かじとりワイヤが切れていない →	かじとりワイヤ留めつけボルトが緩んでいる可能性があります。	お買い上げ店様にご相談ください。
④ **かじとり押し手棒とハンドルが平行にならない**	平行からどのくらいズレがありますか？ 図7		
	こぶし一つ分以内のズレの場合 →	機能上、ご使用いただくために問題は起こりません。	どうしても気になる場合は、自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、調整してください。
	こぶし一つ分以上の大きなズレの場合 ↓ さらにチェック！		
	お買い上げ後のご使用期間は？		
	お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）の場合 →	かじとりワイヤの調整が狂っている可能性があります。	お買い上げ店様にご相談ください。
	お買い上げ後、一週間以上ご使用されている場合 →	かじとりワイヤがご使用の間に伸び、調整が狂っている可能性があります。	自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、調整してください。
⑤ **かじとり押し手棒の可動する角度が左右で異なる**	可動する角度が少ない側の、可動角度は？ 図8		
	30° 以上の場合 →	機能上、ご使用いただくために問題は起こりません。	どうしても気になる場合は、自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、調整してください。
	30° 以下しかかじが切れない場合 ↓ さらにチェック！		
	お買い上げ後のご使用期間は？		
	お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）の場合 →	かじとりワイヤの調整が狂っている可能性があります。	お買い上げ店様にご相談ください。
	お買い上げ後、一週間以上ご使用されている場合 →	かじとりワイヤがご使用の間に伸び、調整が狂っている可能性があります。	自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、調整してください。

図4

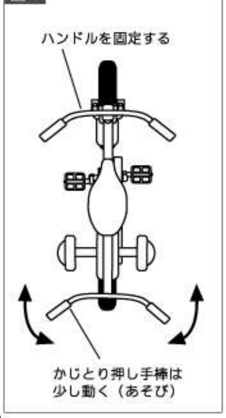


図5

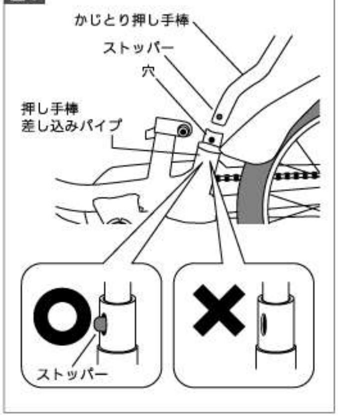


図6

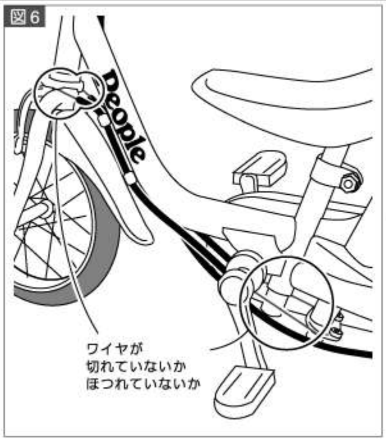


図7

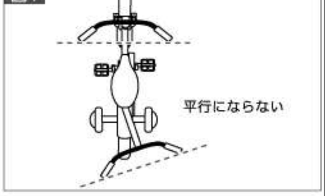
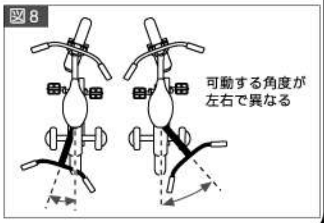


図8



●その他

症状	チェック項目	判定	対処方法
① **後輪から「キーキー」音がする。**	ハンドルまわりのブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。図9		
	├ ブレーキワイヤの配置が正常でない。→	ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。	本冊子の「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度ハンドルの組み立てを行ってください。
	└ ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック！		
	車体のブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。図10		
	├ ブレーキワイヤの配置が正常でない。→	図10のように車体を通るブレーキワイヤがたるんだ状態になると、ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。	たるみをなくすよう 図11 ワイヤを整えてください。
	└ ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック！		
	お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）ですか？		
	├ 一週間以内のご使用の場合。→	ブレーキワイヤは、一週間程度ご使用いただく間に、少しずつワイヤが伸びていきます。(「初期伸び」と言われる全てのワイヤが持つ性質で、不良ではありません。）ブレーキワイヤはあらかじめ少しきつめに引っ張られた状態で製造されており、そのせいで常にブレーキが少しかかった状態になっている可能性があります。	初期伸びをわざと起こさせるため、ブレーキレバーを両手で強く、10回程度握ってください。 改善されない場合は下記のチェック項目へお進みください。
	└ お買い上げいただいて一週間以上使用の場合。 ↓ さらにチェック！		
	乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。		
	├ キーキー音がなくなった。→	雨の日や湿度の高い日に、湿気によってブレーキがこすれ、音が発生することがあります。湿気がとれると解消されますので、乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。	
	└ キーキー音がなくならない。→	→	お買い上げ店様にご相談ください。
② **補助輪が地面から浮いている。**	片側の補助輪を地面につけ、もう一方の補助輪が地面から浮いている高さを測ってください。図12		
	├ 2～3cm浮いている。→	正常な状態です。	
	└ 4cm以上浮いている、または両補助輪とも地面についている。→	片側の補助輪を地面につけ、もう一方の補助輪が地面から2～3cm浮いているのが正常な状態です。補助輪が浮きすぎているのも、2つの補助輪が接地しているのも調整不良です（カーブを曲がりにくくなり、危険です。）	自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、調整してください。
③ **前輪リムが黒く汚れている。**	→ 正常です。	前輪リムは、ブレーキゴムが接触してブレーキを作動させる役割があるため、ご使用いただくと必ず黒く汚れます。汚れが気になる場合は、市販の「ブレーキクリーナー」をお使いいただくと、比較的きれいに掃除できます。ブレーキクリーナーは自動車用品店や自転車店、ホームセンターでお求めいただけます。	
④ **パンクかな？と思ったら。**	「バルブ」のねじを確認してください。図13		
	├ バルブのねじが緩んでいる場合。→	緩んだバルブから空気が抜けてしまっただけで、パンクではありません。	バルブのねじを手で時計回りに締めた上で、再度空気を入れてください。
	└ バルブのねじが緩んでいない場合。 ↓ さらにチェック！		
	タイヤに空気を入れて、一日放置し、空気が抜けていないか確認してください。		
	└ 空気が抜けてしまう場合。→	チューブに穴があいてパンクしていると思われます。	お買い上げ店様にご相談ください。（お客様の責任によるパンクの場合は有料になります。）

図9

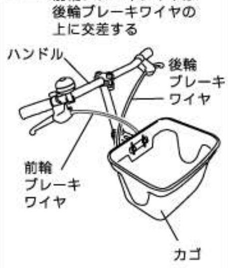


図10

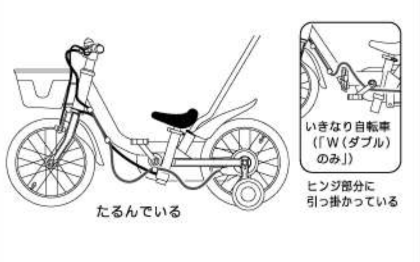


図11

図12

図13

7）かじとりワイヤの取り外し手順

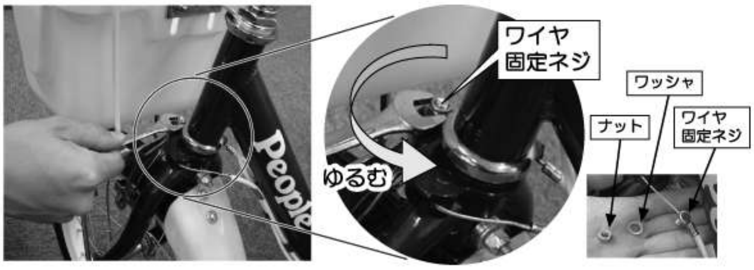
※ここでは、お子様が「かじとり機能」を使わずに一人で乗れるようになった際、
安全のため、かじとり機能を取り去るための「かじとりワイヤ」の取り外し方を説明します。

警告 お子様が自分で運転できるようになったら、必ず「かじとりワイヤ」を下記手順で取り外してください。ハンドル操作から過度な負荷が「かじとりワイヤ」にかかって消耗し、切れた「かじとりワイヤ」でケガをする恐れがあります。

【注意】ワイヤの端やほつれた部分は尖っていて危険です。手を触れないように注意して作業してください。

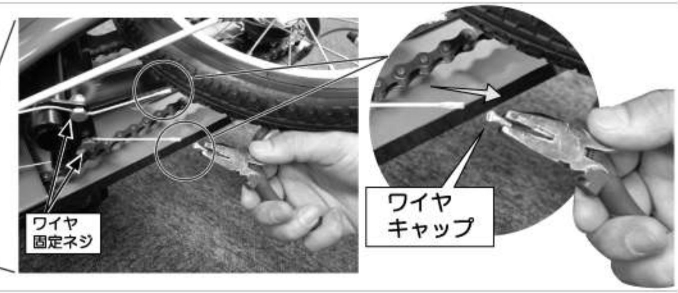
前側の固定ネジを外す

1 カゴの裏にあるワイヤ固定ネジのナットを完全にゆるめ、ナット・ワッシャを取り外し、ワイヤ固定ネジを台座の穴から抜いておきます。(ネジはワイヤからはまだ取り外せません)



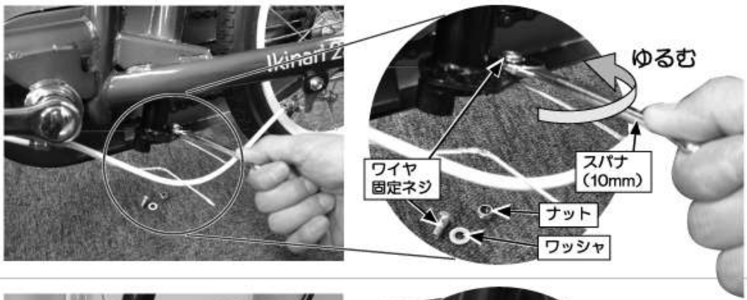
ワイヤキャップを取り外す

2 写真のように、チェーンケースを下にして車体を横に倒し、押し手棒差込みパイプの下に留められているワイヤ端のワイヤキャップ（2箇所）をプライヤ（ペンチ）等で引っぱって取り外します。



後側の固定ネジを取り外す

3 10mm のスパナで押し手棒差込みパイプの下にあるワイヤ固定ネジ（2箇所）のナットを完全にゆるめ、ナット・ワッシャ・ワイヤ固定ネジ（各2個）を取り外します。



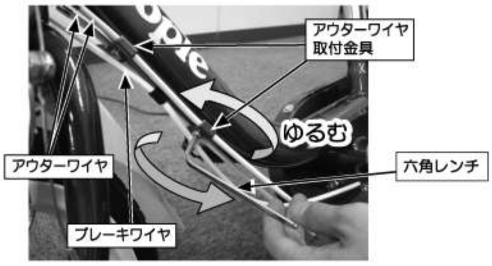
ワイヤを引き抜く

4 車体を起こし、前カゴの裏からかじとりワイヤを引き出して、最後まで完全に抜き取ってください。“**1**”でゆるめたワイヤ固定ネジも、ここでワイヤといっしょに取り外してしまいます。

取付金具とアウターワイヤを取り去る

5 フレームの「People」ロゴの下にあるアウターワイヤ取付金具（2箇所）を六角レンチを使って取り外し、アウターワイヤ 2 本（かじとりワイヤを引き抜いた後に残った柔らかいパイプ）も取り外してください。

※すぐそばに同じ色のブレーキワイヤがあります。
間違えないようにご注意ください。



【もう一度、かじとり機構を取り付けたいときは…】
- 取り付けは、お近くの自転車店で行ってください（有料）。
- 一度取り外した「かじとりワイヤ（金属製のワイヤとワイヤキャップ)」の再利用はできません。自転車店で「ブレーキワイヤ」をお求めの上、代用してください。

8）定期点検用チェックリスト

● ご購入後 2ヶ月以内に 1 回目を、その後 1 年ごとに実施して下さい。
● 点検・整備はお早めに自転車店等に依頼されることをおすすめします。(有料)

点検項目		2ヶ月以内 初期点検	1 年ごと	1 年ごと	1 年ごと	1 年ごと
		年　月	年　月	年　月	年　月	年　月
①	体格に合った調整がされているか。					
	●サドルにまたがって両足先が地面に届くか。					
	●ハンドルの高さは適当か。					
②	以下の部分は確実に固定できるか。					
	●ハンドルにガタ付き、ゆるみはないか。					
	●サドルにガタ付き、ゆるみはないか。					
	●かじとり押し手棒にガタ付き、ゆるみはないか。					
	●折りたたみ部にガタ付き、ゆるみはないか。(プレミアムのみ)					
③	フレーム・フロントフォークに変形や亀裂などはないか。					
④	ヘッド・ハンガー小物にガタ・磨耗はないか。					
⑤	ブレーキゴム類の消耗品はすり減っていないか。					
⑥	ブレーキレバーの間隔は正常か。前後のブレーキはよく効くか。					
⑦	補助輪は正しい位置にしっかり固定されているか。					
⑧	車輪のぶれ、スポークのゆるみ・曲がり、軸部のガタ付きはないか。					
⑨	チェーンのたるみ・張りは適正か。					
⑩	タイヤの空気圧は適正か。すり減っていないか。外観に異常はないか。					
⑪	クランクに曲がりはないか。チェーンリングは滑らかに回転し、ガタはないか。					
⑫	ペダルは回転するか。ガタつき、異音はないか。					
⑬	ペダルとクランクは直角になっているか。					
⑭	ベルはよく鳴るか。ゆるんでいないか。					
⑮	泥よけ、前カゴはしっかりと取り付けてあるか。					
⑯	各部のクイックレバー、ネジのゆるみ、脱落箇所はないか。					
⑰	フリーホイールの回転と注油はよいか。					
⑱	チェーンケースの形状と取り付けはよいか。					
⑲	かじとりワイヤにゆるみとほつれはないか。					
定期点検・調整を実施した専門店ならびに年月日		㊞	㊞	㊞	㊞	㊞
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

※ 点検時期以外であっても異常を感じた場合は上記の点検を実施して調整・修理して下さい。

People 発売元 ピープル株式会社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-15-5 モリビルディング
●商品のお問い合わせはお客様相談係まで TEL 03（3862）3739 ※電話受付時間：月~金（祝日を除く）10:00～12:00・13:00～16:00
FAX 03（3862）3730
●ピープルホームページ……http://www.people-kk.co.jp/